

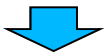
PENTAX S-3180Vによる スキャニングとデータ処理

データ取得から処理までの工程 (例)

S-3180Vによる
3D点群データ取得



Laser Control ※1
による点群データ処理
(カラー化やデータ接合等)



Land Formsによる ※2
解析・出来形計算



Land Formsによる ※2
出来高帳票作成



Land Formsによる ※2
シュミレーション等

✓ 機器設置から短時間で対象エリアのスキャニング及び撮影を行います。

✓ ソフトウェアにデータを取込み、スキャンデータのカラー化、接合(レジストレーション)等を行います。フィルタリングはLand Formsでも可能です。

✓ 後処理ソフトに設計データを読み込みます。

✓ 後処理ソフトでデータのフィルタリング、解析・出来形計算を行います。

✓ 処理したデータの帳票を作成します。

✓ 必要に応じ結果のシュミレーションを実施します。

※1: Laser Controlは Z+F社のソフトウェアです。

※2: LandFormsは 株式会社 アイ・エス・ピー社のソフトウェアです。



PENTAX 測量機

TI アサヒ株式会社